総務省

消費者物価指数（全国3月）

総合　：　前年同月比　３．６％

生鮮食品を除く総合　：　前年同月比　３．２％

（前年度比）

	2022年度	2023年度	2024年度
総　　合	3.2	3.0	3.0
生鮮食品を除く総　　合	3.0	2.8	2.7
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	2.2	3.9	2.3

（前年同月比）

2024年	2025年		
12月	1月	2月	3月
3.6	4.0	3.7	3.6
3.0	3.2	3.0	3.2
2.4	2.5	2.6	2.9

（1）前年同月及び前月との比較

- 「生鮮食品を除く総合」の前年同月比は 3.2%で、前月に比べ 0.2 ポイント上昇幅は拡大
  ※「生鮮食品を除く食料」の上昇幅は拡大（2月 5.6%→3月 6.2%）
  「米類」の上昇幅は拡大（2月 80.9%→3月 92.1%）
  ※「エネルギー」の上昇幅は縮小（2月 6.9%→3月 6.6%）
  電気代（2月 9.0%→3月 8.7%）、都市ガス代（2月 3.5%→3月 2.0%）

- 「生鮮食品及びエネルギーを除く総合」の前年同月比は 2.9%で、前月に比べ 0.3 ポイント上昇幅は拡大

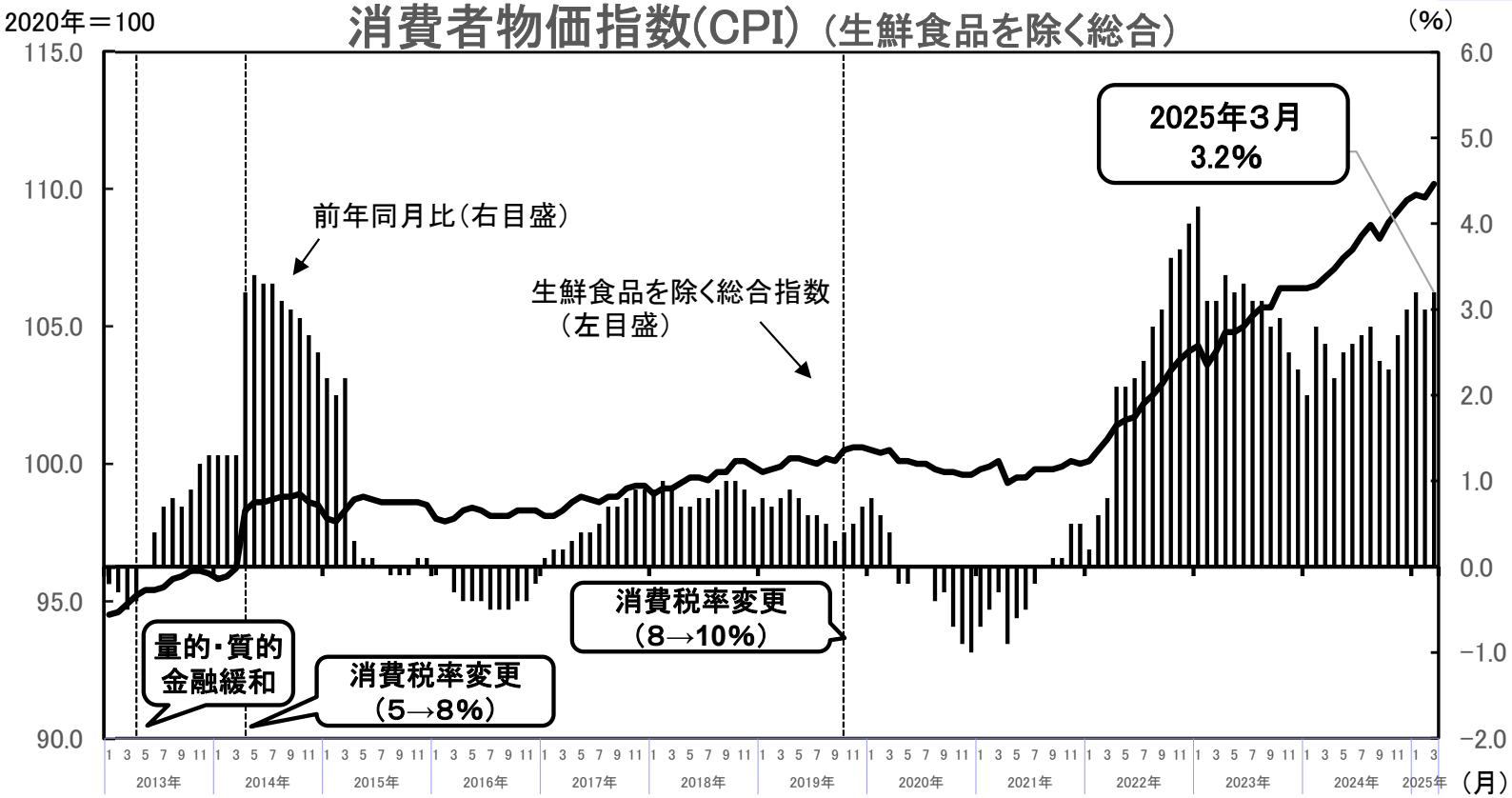
（2）その他

- 電気・ガス料金負担軽減支援事業による押し下げ効果は、「総合」の前年同月比に対し 0.33 ポイント（試算値）
- 2024 年度平均の「総合」は、1年前に比べ 3.0%の上昇、「生鮮食品を除く総合」は、2.7%の上昇

消費者物価指数の最近の動向

総務省統計局

消費者物価指数（CPI）



- ▶消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）は、2013年４月の日本銀行による量的・質的金融緩和の導入後、1年以上にわたり上昇傾向
- ▶2020年は新型コロナウイルス感染症の影響による原油安により「エネルギー」が下落
- ▶2024年はうるち米の需給の引き締まりに加え、生産コストや運送費が上昇し、米類を含む「生鮮食品を除く食料」などが上昇
- ▶2025年３月前年同月比「生鮮食品を除く総合」3.2%